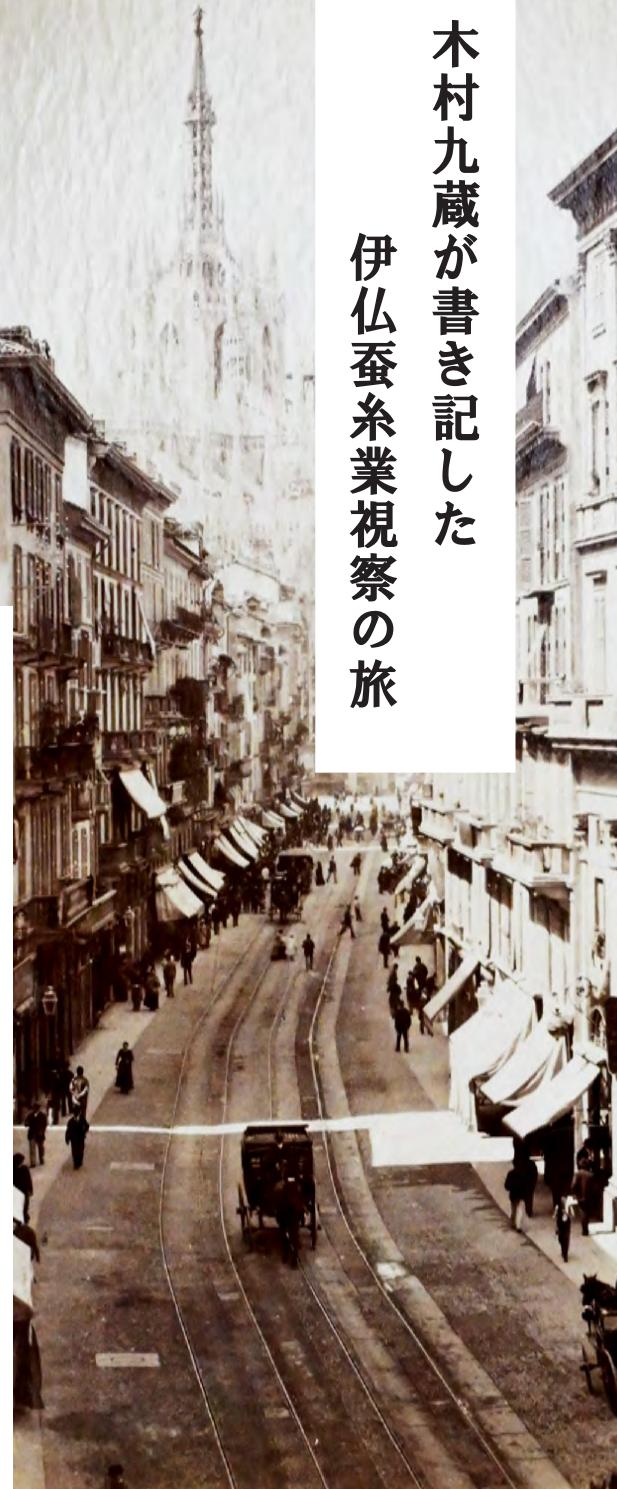


木村九蔵が書き記した

伊仏蚕糸業視察の旅



本庄早稲田の杜ミュージアム企画展

# 養蚕家が見た歐州

—『明治二十二年三月十日欧行日記』より—

2025 12.6 (土) ~ 2026 3.2 (月)



本庄レンガ倉庫

HONJO BRICK WAREHOUSE

会 場

本庄市銀座 1-5-16 旧本庄商業銀行煉瓦倉庫 1階展示スペース

開館時間 午前9時～午後7時 / 入館料 無料

休館日 12/29～1/3

問い合わせ 本庄早稲田の杜ミュージアム  
HONJO-WASEDA NO MORI MUSEUM



HP▶

開館時間 午前9時～午後4時30分 / 休館日 月曜(休日の場合は翌日)、12/28～1/3  
TEL 0495-71-6878 / FAX 0495-71-6879 / E-mail hwmm@city.honjo.lg.jp



パリ万国博覧会が開催された明治 22（1889）年、日本では国内の蚕糸業が抱える諸問題への対応が必要となり、イタリア・フランスの状況を視察するため、蚕糸業関係者を現地へ派遣することになりました。競進社社長の木村九蔵も視察員に選ばれ、農商務大臣井上馨の命により、イタリアとフランスへ蚕糸業の状況視察に向かいました。その成果は、木村九蔵の功績の一つである日本蚕種貯蔵会社の設立へと繋がっていきます。本企画展では、木村九蔵が書き記した『明治二十二年三月十日欧行日記』を中心に木村九蔵の視察の様子と帰国後の活動について紹介いたします。



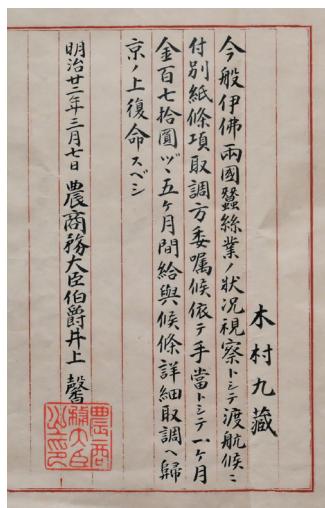
伊仏視察員集合写真  
明治 22 年 / 本庄市蔵



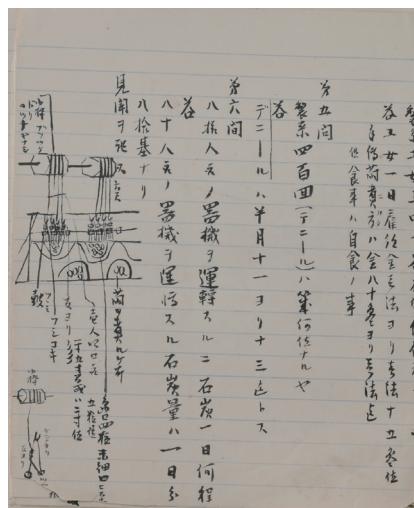
パリ万国博覧会のパビリオン  
明治 22 年 / 本庄市蔵



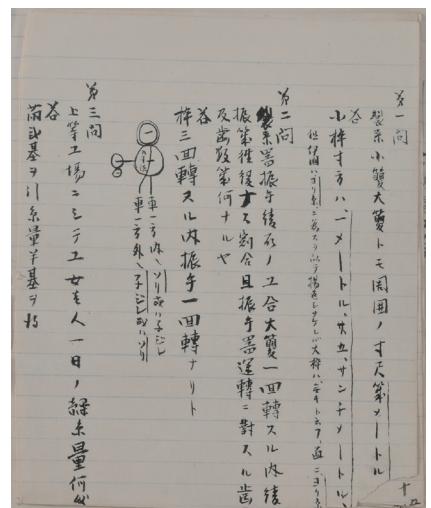
リヨンの風景  
近代 / 本庄市蔵



伊仏蚕糸業視察の委嘱状  
明治 22 年 / 本庄市蔵



製糸器械所の視察（『欧行日記』5月21日より）  
明治 22 年 / 本庄市蔵



### 〈企画展会場〉

所在地 本庄市銀座 1-5-16 旧本庄商業銀行煉瓦倉庫 1 階展示スペース

開館時間 午前 9 時～午後 7 時 / 入館料 無料

休館日 12 月 29 日～1 月 3 日



### 〈主催・お問合せ〉

本庄早稲田の杜ミュージアム

開館時間 午前 9 時～午後 4 時 30 分

休館日 月曜日（休日の場合は翌日）、12 月 28 日～1 月 3 日

TEL 0495-71-6878 FAX 0495-71-6879 E-mail hwmm@city.honjo.lg.jp

